

小・中学生の『おこづかいと定額給付金』についてのアンケート調査

おこづかいアップのおねだりは「欲しいものができたとき」でおよそ3割
定額給付金の使い道は「貯金する」が1位

株式会社ネットマイル
株式会社バンダイナムコゲームス

株式会社ネットマイル(代表取締役社長:山本雅、本社:東京都千代田区、以下、ネットマイル)と株式会社バンダイナムコゲームス(代表取締役社長:鶴之澤 伸、本社:東京都品川区、以下、バンダイナムコゲームス)は、共同で展開しているネットリサーチサービス『キッズリサーチ』において、『おこづかいと定額給付金』についてのアンケート調査を実施しました。

2009年3月30日に、小中学生を中心とした38万人以上の会員が参加する情報交換サイト「サークルリンク」(運営:バンダイナムコゲームス)の会員を対象にアンケートを実施。回答の集計を行い、669名の有効回答がありました。

調査結果概要

おこづかいについて質問したところ、1ヶ月のおこづかいは小学校中学年の約3割が“500円以下”、中学生の半数以上が“1,001円以上”との結果がでました。また、およそ3割の子どもが「欲しいものができたとき」におこづかいアップのおねだりをするようになりました。

さらに、定額給付金について質問したところ、定額給付金の認知度は学年が上がるにつれ高くなる傾向がみられました。なかでも、給付金を知っている中学生のうち、自分が受け取れる金額まで知っている子どもは約7割に達しました。

定額給付金の使い道については、1位が「貯金する」、2位が「親にあげる」、3位が「ゲームやおもちゃなど自分の好きなものを買う」という結果でした。

調査結果詳細

1ヶ月のおこづかい 小学校中学年の約3割が“500円以下”、中学生の半数以上が“1,001円以上”

「あなたは、おこづかいを1ヶ月にいくらもらっていますか?」と質問したところ、「501～1,000円」(22.6%)が最も多く、次いで「1～500円」(18.8%)、「1,001～1,500円」(9.9%)という順になりました。

性別で比較すると、【1,000円以下(「1～500円」と「501～1,000円」の回答率合計)】は男の子が約3割だったのに対し、女の子では約5割と、女の子の回答の多さが目立ちます。

学年別に比較すると、「1～500円」では学年が高くなるにつれて回答が減り、小学校中学年で約3割だったのが、小学校高学年では2割、中学生では1割を下回りました。これに対して、【1,001円以上(「1,001～1,500円」、「1,501～2,000円」、「2,001～2,500円」、「2,501～3,000円」、「3,001円以上」の回答率合計)】では学年が高くなるほど回答が増え、小学校中学年ではおよそ1割だったのが、小学校高学年ではおよそ2割、中学生では5割を超えています。

(グラフ1)

おこづかいアップのおねだりは「欲しいものができたとき」がおよそ3割

おこづかいをもらっていると回答した子どもに、「あなたが「おこづかいをふやして欲しい」と親に言うきっかけはなんですか?」と質問したところ、「欲しいものができたとき」(31.3%)が最も多く、次いで「進級・進学するとき」(23.7%)、「テストでいい点をとったとき」(16.2%)と続きました。

性別で比較すると、「欲しいものができたとき」では男の子より女の子の回答がやや多くなりました。

学年別に比較すると、「進級・進学するとき」と「テストでいい点をとったとき」の選択肢に対して、小学校中学年では回答に差はほとんどみられませんでした。小学校高学年と中学生では「進級・進学するとき」の回答が「テストでいい点を取ったとき」を上回っています。

(グラフ2)

定額給付金の認知度は学年が上がるにつれ高くなり、中学生では6割を大きく超える結果に

『あなたは定額給付金を知っていましたか?』と質問したところ、「内容まで知っていた」(52.8%)の回答が半数を超え最も多く、次いで「なんとなく知っていた」(35.1%)、「知らない」(12.1%)という結果が出ました。

学年別に比較すると、学年が高くなるにつれ「内容まで知っていた」の回答が増えています。小学校中学年では4割程度だったのが、小学校高学年では5割以上、中学生にいたっては6割を超えており、定額給付金の認知度は学年が上がるとともに増加しています。

(グラフ3)

中学生の約7割が定額給付金について「自分がうけとれる金額まで知っている」と回答

定額給付金について、「内容まで知っていた」、あるいは「なんとなく知っていた」と回答した子どもに、『あなたがうけとれる定額給付金の金額を知っていますか?』と質問したところ、「自分がうけとれる金額まで知っている」(63.6%)の回答が最も多く、次いで「自分がうけとれることは知っているが、もらえる金額まではわからない」(24.8%)、「自分がうけとれることを知らない」(11.6%)という結果がでました。

学年別に比較すると、「自分がうけとれる金額まで知っている」のは中学生で最も多く約7割という結果でした。

(グラフ4)

定額給付金は「親が使い道を決めた」が3割以上

「自分がうけとれる金額まで知っている」、あるいは「自分がうけとれることは知っているが、もらえる金額まではわからない」と回答した子どもに、『あなたがうけとる定額給付金の使い道をだれとどのように決めましたか?』と質問したところ、「親が使い道を決めた」(32.7%)が最も多く、次いで「家族で話しあって決めた」(12.7%)、「自分で決めた」(10.8%)の順になりました。

性別で比較すると、「自分で決めた」では女の子よりも男の子の回答が多くなりました。

このほか、「使い道は決めていない」(36.3%)の回答も比較的多くみられ、使い道についてはこれから考える子どもが多いことが推測されます。

(グラフ5)

定額給付金の使い道は「貯金する」が4割を大きく超え1位

定額給付金の使い道について、「使い道は決めていない」、あるいは「給付金はうけとらない」と回答した子どもを除いて、『あなたがうけとる定額給付金の使い道を教えてください。』と質問したところ、1位が「貯金する」(45.5%)、2位が「親にあげる」(26.1%)、3位が「ゲームやおもちゃなど自分の好きなものを買う」(25.8%)、4位が「衣服やコスメなどを買う」(13.2%)、5位が「旅行や遊園地に行く」(10.0%)といった結果でした。

性別で比較すると、「貯金する」や「衣服やコスメなどを買う」の項目で男の子よりも女の子の回答が多くなりました。

学年別に比較すると、「衣服やコスメなどを買う」では小学校中学年では1割にも満たないですが、小学校高学年と中学生ではともに2割近くと回答に開きがみられました。小学校中学年から高学年にかけておしゃれや自分の外見に対する意識の差が生じる様子が見られます。

(グラフ6)

定額給付金を現金以外でもらうなら「図書カード」

『定額給付金を現金以外で、もらえたらうれしいものを3つまでお答えください。』と質問したところ、「図書カード」(58.9%)が圧倒的に多く、次いで「文具券」(30.2%)、「遊園地券」(30.0%)、「映画チケット」(29.9%)といった順になりました。

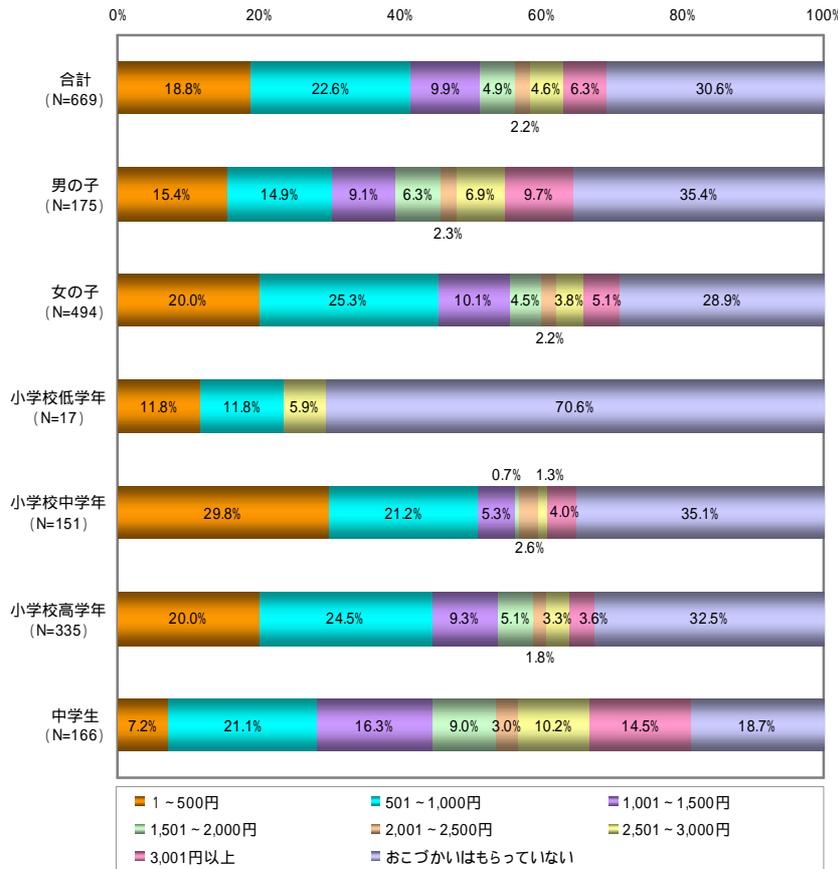
性別で比較すると、「図書カード」や「文具券」、「遊園地券」では男の子よりも女の子、一方「スポーツ観戦券」や「おもちゃ券」では女の子よりも男の子の回答が多くなりました。

学年別に比較すると、「図書カード」では学年が高くなるにつれて回答が多くなり、小学校中学年では約5割だったのが、小学校高学年、中学生では6割を超える結果でした。反対に「遊園地券」や「おもちゃ券」では学年が高くなるほど回答が減る傾向が見られます。

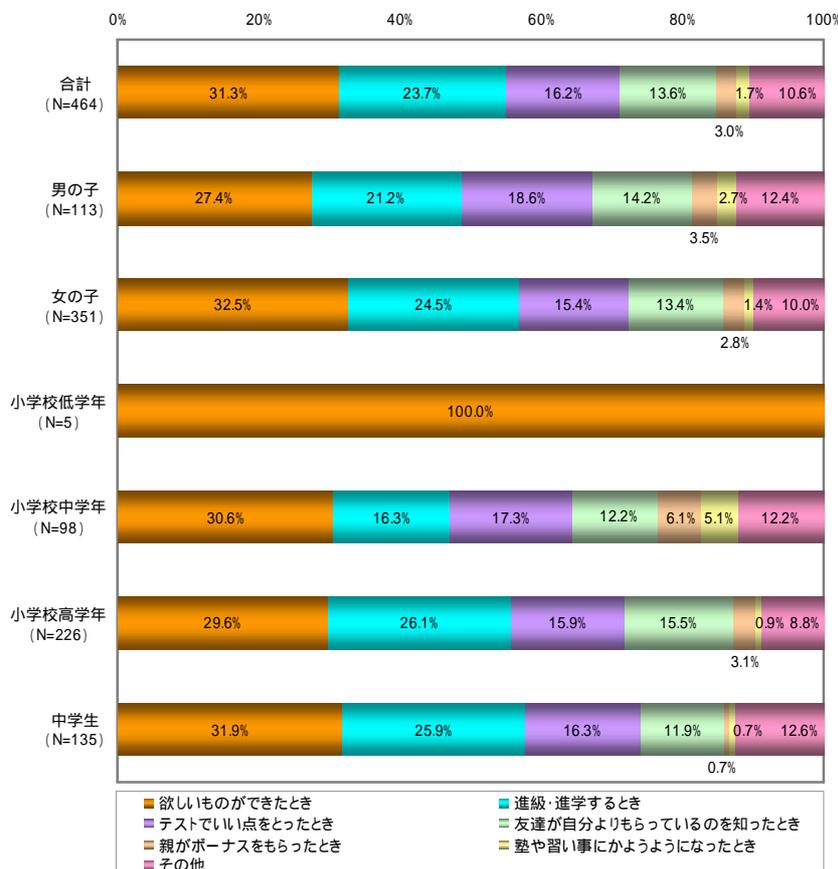
(グラフ7)

アンケートの詳細は、<http://research.netmile.co.jp/> をご確認ください。

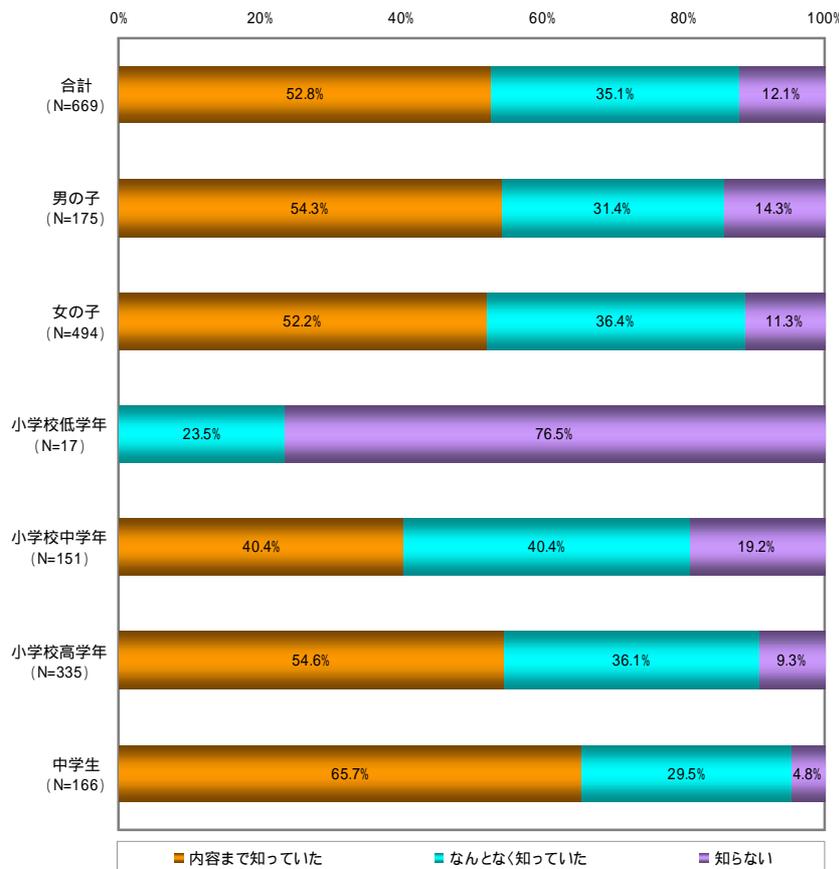
グラフ1: あなたは、おこづかいを1ヶ月にいくらもらっていますか？



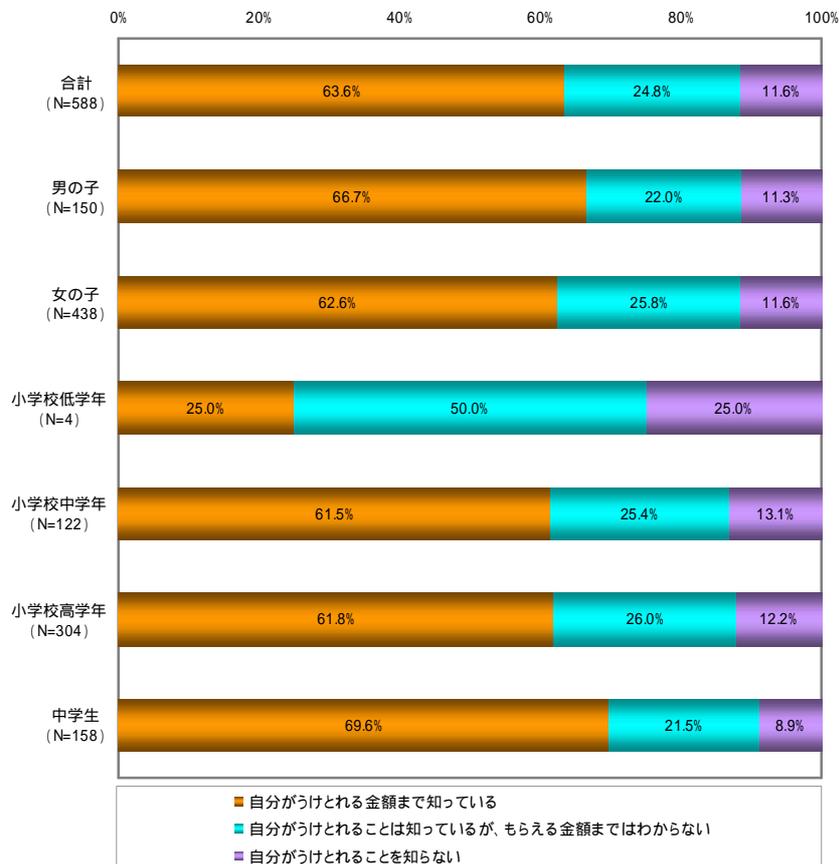
グラフ2: あなたが、「おこづかいをふやして欲しい」と親に言うきっかけはなんですか？



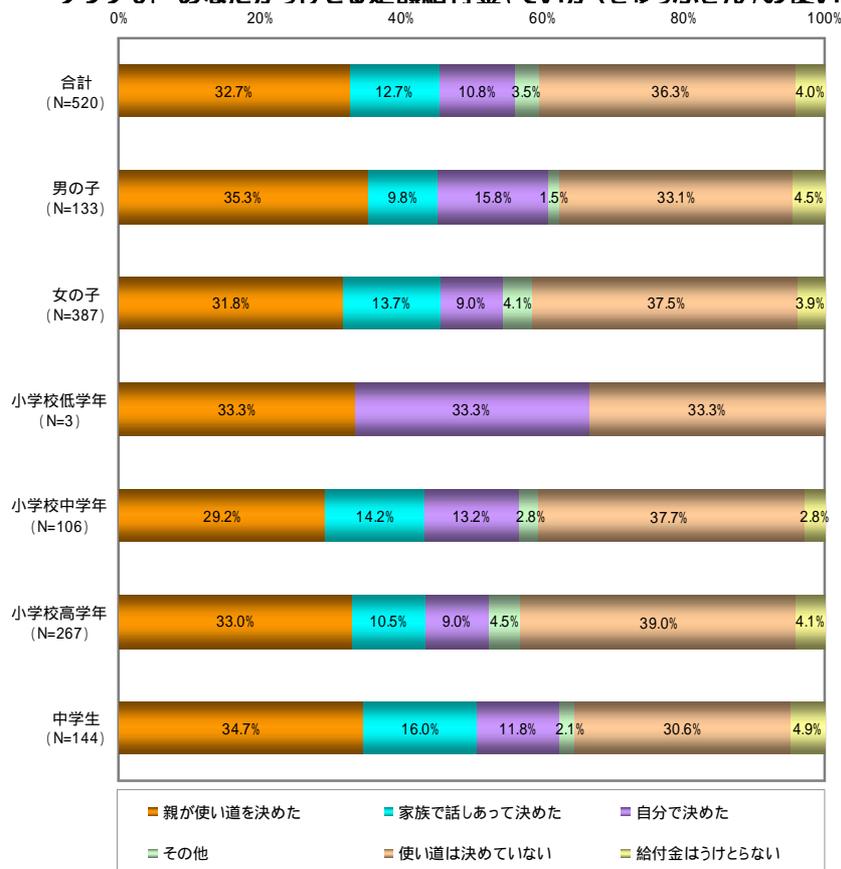
グラフ3: あなたは、定額給付金(ていがくきゅうふきん)を知っていましたか？



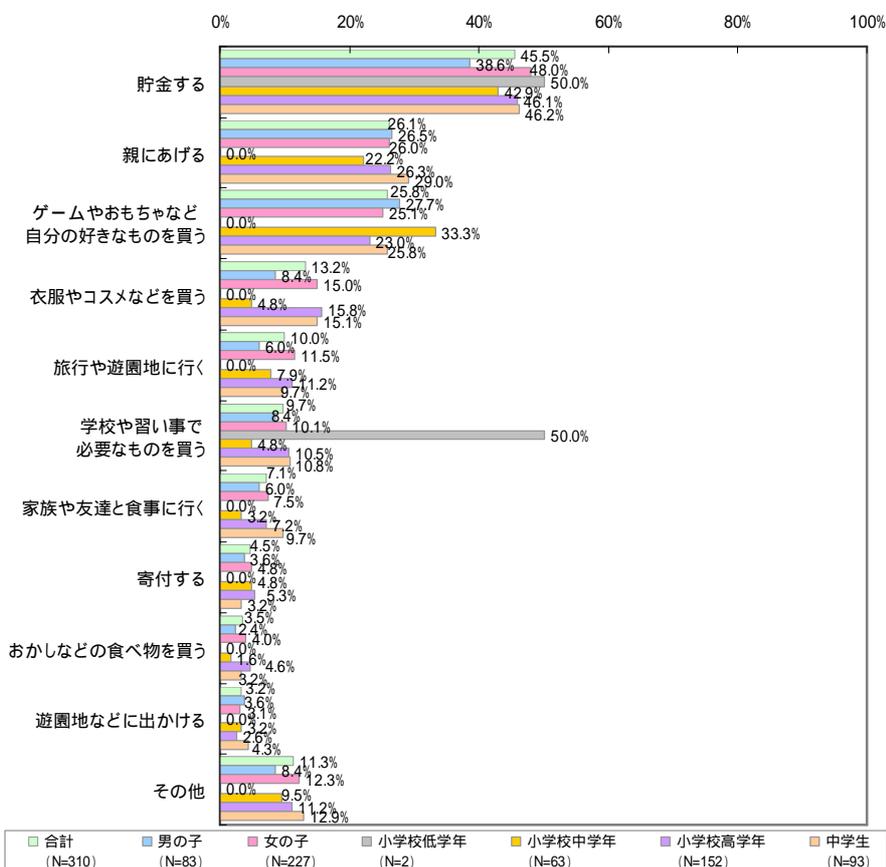
グラフ4: あなたがうけとれる定額給付金(ていがくきゅうふきん)の金額を知っていますか？



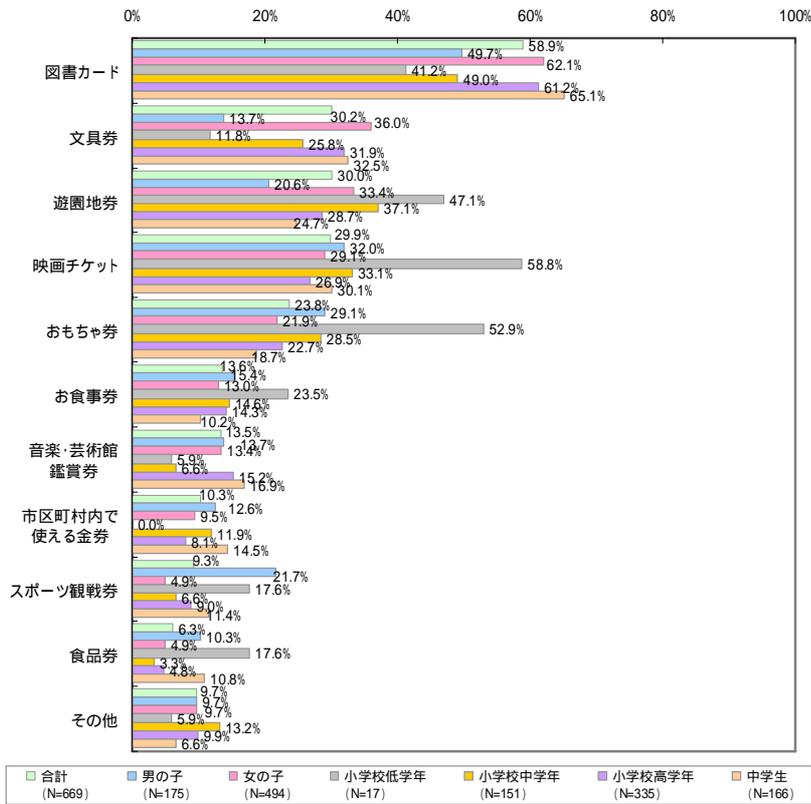
グラフ5: あなたがうけとる定額給付金(ていがくきゅうふきん)の使い道をだれとどのように決めましたか?



グラフ6: あなたがうけとる定額給付金(ていがくきゅうふきん)の使い道を教えてください。



グラフ7: 定額給付金(ていがきゅうふきん)を現金以外で、もらえたらうれしいものを3つまでお答えください。



「その他」を除き、合計の数値が高い順に並び替え

調査概要
設問項目:

- 1) あなたは男の子ですか？女の子ですか？
- 2) あなたの学年は？
- 3) あなたはおこづかいを1ヶ月にいくらもらっていますか？
- 4) あなたが、「おこづかいをふやして欲しい」と親に言うきっかけはなんですか？
- 5) あなたは、定額給付金(ていがくきゅうふきん)を知っていましたか？
- 6) あなたがうけとれる定額給付金(ていがくきゅうふきん)の金額を知っていますか？
- 7) あなたがうけとる定額給付金(ていがくきゅうふきん)の使い道をだれとどのように決めましたか？
- 8) あなたがうけとる定額給付金(ていがくきゅうふきん)の使い道を教えてください。
- 9) 定額給付金(ていがくきゅうふきん)を現金以外で、もらえたらうれしいものを3つまでお答えください。

調査方法: 情報交換サイト「サークルリンク」(<http://link.channel.or.jp/>)会員向け特別ページにおけるクローズド型インターネット調査

調査対象者: 全国の小中学生を中心とした「サークルリンク」会員

調査期間: 2009年3月30日 11:00 ~ 2009年3月31日 17:00

有効回答数: 669人

【性別】

「男の子」 175人 (26.2%) 「女の子」 494人 (73.8%)

【学年】

「小学1年生」 4人 (0.6%)

「小学2年生」 13人 (1.9%)

「小学3年生」 46人 (6.9%)

「小学4年生」 105人 (15.7%)

「小学5年生」 158人 (23.6%)

「小学6年生」 177人 (26.5%)

「中学1年生」 120人 (17.9%)

「中学2年生」 30人 (4.5%)

「中学3年生」 16人 (2.4%)

小学1~2年を「小学校低学年」、小学3~4年を「小学校中学年」、小学5~6年を「小学校高学年」、中学1~3年を「中学生」としてまとめ、「小学生低学年」、「小学生中学年」、「小学生高学年」、「中学生」の4つの区分の比較結果をレポート。

回答数674名:「幼稚園・保育園」3人と「高校生」2人は学年別分析に用いるだけの数が確保できなかったため、有効回答から除外して集計・分析を行いました。また、「小学校低学年」については17名と少ないため、参考値として記載しています。

「キッズリサーチ」について(URL: <http://research.netmile.co.jp/service/kidsresearch.html>)

ネットマイルとバンダイナムコゲームスが行う「キッズリサーチ」とは、バンダイナムコゲームスが運営する小中学生を中心に38万人以上の会員が参加する情報交換サイト「サークルリンク」と連携した、「小中学生」が対象のネットリサーチサービスです(サービス開始は2006年11月29日)。

従来、小中学生向けに市場調査(マーケティング・リサーチ)を行う場合、ご両親が本人の代理で回答を行う郵送や電話調査が大半を占め、ご両親が代理で回答するため、実際に小中学生の“生の声”を聞くことが非常に難しく、アンケートの実施期間もかかり、サンプル数も限られていました。この「キッズリサーチ」では、小中学生を中心とした「サークルリンク」の38万人を超える会員の方々に協力していただくことにより、今まで聞けなかった小中学生の“生の声”を、インターネットを利用して取得することができます。今後も毎月、小中学生を対象にさまざまな切り口でアンケート調査を実施してまいります。

「サークルリンク」について(URL: <http://link.channel.or.jp/>)

「サークルリンク」とは、2005年11月23日にサービスを開始した、小中学生を中心に38万人以上の会員が参加する情報交換サイトです。日記やマンガ、ゲームなどすべてが無料で遊べるほか、実際の企業が監修したコンテンツでお仕事体験ができる「サークルリンクお仕事タウン」など、楽しくネットリテラシーと社会活動が学べるサービスを提供しています。

以上

記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。